

国立競技場記念作品等設置等アドバイザー会議（第5回）議事概要

1. 日時：平成29年11月2日（木）12:00～13:00
2. 場所：議事持ち回り開催（代々木競技場及び東京藝術大学内）
3. 議事（1）国立競技場記念作品等設置等アドバイザー会議報告書（案）の承認
（2）意見交換
4. 出席者 木島隆康アドバイザー、工藤晴也アドバイザー、藤岡洋保アドバイザー、
杉山茂アドバイザー（委任状提出）
※藤岡アドバイザーについては10月31日に意見聴取

5. 議事要旨

<議事1：国立競技場記念作品等設置等アドバイザー会議報告書（案）の了解>

○事務局から、「国立競技場記念作品等最終保存場所について（案）」を確認した。

（主に中間報告からの追加・変更点について確認）

○アドバイザーから、以下の発言があった。

- ・中間報告時から設置場所変更が何点もあったが、むしろ以前よりも良い方向に変更された。一部壁画等の設置場所がやや閉鎖的であったことを心配していたが、それが解消された。
- ・設置場所の閉鎖性が解消されたことで、セキュリティ面も向上したのではないかと。
- ・1964年大会時のレガシーをこのように移設できることは歴史文化を大切にするというよいアピールになる。胸を張ってよい成果だと思う。
- ・現状で考えうる最適な場所に移設する計画を立てられたと思う。一部オリンピックに間に合わないのは残念だが、よい形で歴史を継承できる。

<議題2：最終保存場所（案）の確認について>

○事務局から、本アドバイザー会議における検討を通じての感想や今後の課題等についてうかがった。

○アドバイザーから、以下の発言があった。

- ・外苑西通り沿いに設置される1964年東京大会優勝者銘盤は手で触れられるような距離であるので、管理方法を工夫する必要がある。
- ・南西の壁画群などは見応えがあり、海外からの観光客を呼べるほどのものになると思う。そういう点では、これら記念作品の設置場所をゾーニングして、適切な名称をつけると旅行者向けのガイドブックに掲載しやすい。

○上記のやり取りを踏まえ、最終保存場所についてのまとめとした。

○報告書の確定版については改めてご報告をすることを確認した。